

11. その他中心市街地の活性化に資する事項

11-1 基本計画に掲げる事業等の推進上の留意事項

(1) 基本計画における実践的・試行的な活動

① 大手前通りの利活用

『まち・暮らし・踊る リバブルストリート』

～人々の暮らしとエリアの個性の“滲み出し”が彩る大手前通り～

○ 大手前通りの滞留空間について

大手前通り再整備工事では、歩道を歩行者、自転車、滞留空間の三つに分割し、中央部にウッドデッキやベンチ等を設け滞留できる空間となるよう整備を行った。この滞留空間はイベント等での活用が可能となり、電気や水道等のインフラ設備も追加されている。

新たに整備が完了した大手前通りを利活用していくため、沿道協議会である大手前通りまちづくり協議会「大手前みらい会議」が設置された。今後、日常的なにぎわい、憩う空間となるよう活用チャレンジを行い、大手前通りの将来ビジョンをとりまとめていく予定である。

○ 現在の課題とポテンシャル

沿道の低層部には飲食店や物販店といった用途が少なく銀行やオフィスが多いため、通りを歩いてにぎわいのある場所になっていない。また、大手前通りは姫路城と姫路駅を結ぶ来街者の主動線であり、質の高い空間整備ができて一方、道路や街に開かれた建物1階の用途が少なく、通りの使い方や沿道に対する関わり方のデザインができておらず、単なる歩道空間となっていることが課題である。



● 大手前通りの利活用イメージ

○大手前通り活用チャレンジ2019「ミチミチ」～食とクラフトに出会う秋の散歩道～

企画主旨 : 今後の大手前通りの利活用を具体的に想定した活用チャレンジを行う。

日 時 : 令和元年11月の1ヵ月間

場 所 : 大手前通り(十二所前線～国道2号線のウッドデッキ・滞留空間等)

内 容 : 沿道ビルオーナーやテナント事業者が中心となった大手前みらい会議(OMK)が、大手前通り周辺で働く方、訪れる方、そして観光客の方を姫路のおいしい「食」や魅力的な「マルシェ」でおもてなしをする。期間中は週末を中心に、多くのくつろぎ空間と飲食の出店や物販マーケットが大手前通りを彩る。

主 催 : 大手前みらい会議(OMK)

サポート一有限会社ハートビートプラン/はりま家守舎株式会社

まちなか広場研究所/SOCI株式会社

支 援 : 姫路市

②リノベーションまちづくり

近年、全国各地でリノベーションまちづくりの取組みが進められ、その結果、多くの物件が再生されるとともに、新たなにぎわいと雇用が生み出され、エリアの価値が高まるといった成果が見られている。本市においても、商店街の空き店舗の活用により、中心市街地エリアの活性化に大きな効果があると考えられることから、講演会等を開催し、姫路のまちにおいてリノベーションまちづくりに対する理解を深めることで、実践に向けた機運を高め、空き店舗等の遊休不動産を活用したリノベーションまちづくりを推進する。

【開催内容】

1)平成27年度 リノベーションまちづくり講演会

日 時 : 平成27年11月25日(水) 19時00分～21時00分

会 場 : 姫路市市民会館 中ホール

趣 旨 : 近年、全国各地でリノベーションまちづくりの取組みが進められており、本市においても、中心市街地商店街の空き店舗の活用により、中心市街地活性化に大きな効果があると考えられることから、リノベーションまちづくりの第一人者である清水義次氏を講師にお招きし、「リノベーションまちづくりによるエリアの再生」と題して、リノベーションまちづくりに関する講演会を開催する。

講 師 : 清水義次氏(株式会社アフタヌーンソサエティ 代表取締役)

2)平成28年度 リノベーションまちづくり講演会

日 時 : 平成29年3月13日(月) 19時00分～21時00分

会 場 : 姫路キャスパホール

概 要 : なぜ、今リノベーションまちづくりなのか。姫路のまちの人たちが「視点」を変え、まちの「つかいかた」を変えることで、住みたい人・起業したい人・店を開きたい人たちに選ばれる“まち”を一緒に育むことを目指し、そのヒントや役立つ情報・内

容を講師から紹介する。また、姫路・野里商店街でリノベーションを実施しているメンバーによる事例紹介を行う。

講 師 : 大島芳彦氏(株式会社ブルースタジオ 専務取締役)

事例紹介 : 街's create(マチヅクリエイト)メンバー (現 はりま家守舎株式会社)

3)平成30年度「中小企業等支援人材育成事業(中心市街地活性化普及促進事業)」

特定テーマ型実地研修－特別編①(姫路市)－(経済産業省委託事業)

日 時 : 平成31年2月1日(金)～2月3日(日)

テ ー マ : 「姫路駅西地区を対象にしたリノベーション(空き地・空き店舗等)」

会 場 : NPO法人姫路コンベンションサポート「コワーキングスペース電博堂」

趣 旨 : まちづくりに関する新規事業をいくつも創り上げてきた講師とともに、姫路駅の西地区にある空き地や空き店舗を活用し、地域にこれまでなかった新たな事業や取組みを検討する。ここで検討した事業や取組みの構想については、研修終了後も、「一般社団法人ひとネットワークひめじ」と連携し、継続して検討を進める。研修だけに留めず、姫路市をフィールドに新たな事業を創出していく研修とする。

講 師 : 服部 彰治 氏(札幌大通まちづくり株式会社 取締役 統括部長)

内 容 : ガイダンス、講義、ディスカッション、現地視察、グループ検討、プレゼンテーション



11-2 都市計画等との調和

中心市街地の活性化は、以下のとおり上位計画等との整合性をもって進められている。

①姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」(平成21年3月策定)

姫路市総合計画「ふるさと・ひめじプラン2020」では、「中心市街地の活力維持と向上のための取組みを行うことが急務」とされており、4つの基本目標のうち、「風格と活力ある歴史文化・産業都市」中の基本的政策「産業の振興」及び「自然豊かで快適な環境・利便都市」中の基本的政策「都心部まちづくりの推進」に位置付けられている。

②姫路市都市計画マスタープラン(平成27年3月策定)

「姫路市都市計画マスタープラン」では、都心部におけるにぎわいの創出と活力の増大等、既成市街地の整備・改善を進めることとされており、JR姫路駅周辺の高次都市機能の集積、都心部の居住環境や利便性の向上を図るとしている。

③姫路市立地適正化計画(平成29年3月策定)

中心市街地は、播磨の中核都市にふさわしい高次都市機能や広域交流の交通結節機能が充実している拠点として「中心拠点」に位置付けられている。中心拠点は、商業施設や医療施設等の市民生活のために必要な施設を一定規模以上確保し、広域的な都市活力向上に貢献する都市機能や防災機能を有する施設も位置付けている。

④特別史跡姫路城跡整備基本計画(平成23年3月策定)

「特別史跡姫路城跡整備基本計画」は、姫路城跡及び世界文化遺産姫路城のバッファゾーンにおける保存管理、整備・活用及び景観誘導について、「特別史跡姫路城跡整備基本構想」に掲げる理念を具体化することを最大の目的に策定されている。